

生産記録(炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する堆肥の施用)

農業者団体の名称	●●地区環境保全会
農業者名 氏名又は法人名	のうりん せとう 農林 太郎

散布量÷面積で計算した数量を記載ください。
注1)基本単価は、水稲で概ね1t/10a以上必要です。
水稲以外で概ね1.5t/10a以上必要です。

ほ場番号	作物名(5割低減)	備考
1~10	水稲	

生産記録番号
2

1 堆肥施用技術

(1)堆肥施用

堆肥の名称(種類)	C/N比	堆肥施用量(kg/10a)	堆肥施用時期(年月日)※	備考※
牛糞もみ糞堆肥	23.4	955	令和●●年 10月 1日	水稲

※主作物(5割低減取組)後の施用の場合は、施用後に栽培する作物名を備考欄に記入

2 栽培管理(5割低減の取組)

注)同一作物で複数ほ場において取組があり、栽培管理の内容が同じ場合 → □ 栽培管理が生産記録番号 _____ に記載した内容と同じ

(1)作業工程

作業名	実施時期(月日)	備考
播種	令和○年4月20日	育苗センター
定植	令和○年5月10日	
収穫(終了日)	令和○年9月15日	

(該当する場合、□にチェック及び下線に生産記録の番号を記載して、「栽培管理(5割低減の取組)」の記載を省略してください。)

(2)肥料等

【使用肥料】(1)の堆肥以外)

資材等の名称	化学肥料窒素成分の割合(%)	使用時期(月日)	使用量(kg/10a)	うち化学肥料窒素成分量(kgN/10a)(A)	慣行の5割低減の水準(kgN/10a)(B)	備考
稲わら秋すき込み	0.00%	令和●●年9月25日	全量	0.000		
ホーネンス培土1号	1.86a/箱	4月20日	18箱	0.034		4kg/箱 育苗センター
べんとう肥	8.00%	5月10日	0.3	0.024		
ケイカル	0.00%	4月20日	120	0.000		
エコ・5-5専用元肥	4.80%	5月10日	30	1.440		
エコ・5-5専用巻肥	7.50%	7月15日	10	0.750		
味好2号	0.00%	7月25日	10	0.000		
				2.248	3.2	

全ての資材について記載ください。
化学窒素の成分量がわかるパンフレット(堆肥等の自給資材は申立て書)等を提出ください(JAの取扱資材は、原則不要)

作物ごとに定められている数値を記載ください。

忘れずに提出してあるか確認・チェックしてください。

(3)使用農薬

【使用農薬】

農薬名(剤型等、商品名)	使用時期(月日)	化学合成農薬成分回数(C)	慣行低減水準(回数)(D)	備考
温湯種子消毒	3月15日	0		育苗センター
タフブロック	4月10日	0		育苗センター
ヨーバルトップ播種剤	4月20日	2		育苗センター
ソルネット1キロ散剤	5月1日	1		
月光ジャンボ	5月14日	3		
バサグラン散剤	6月28日	1		ほ場No3のみ
スタークル液剤10	7月29日	1		共同防除
バリダシンエアー	7月29日	0		
		8	9	

化学合成農薬成分回数が「0」のものについても記載してください。

一部の資材がほ場で異なる場合、備考にその旨記載ください。

作物ごとに定められている回数を記載ください。

登録内容に合致した使用時期であることがわかるように記載してください。(特に、初期除草剤や後期除草剤の移植後日数や収穫前日数の使用制限)

3 農業者団体への提出・保管する書類

- 出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合)
 施肥管理計画
 土壌診断結果書類
 堆肥の購入伝票等(※)
 堆肥の原材料のわかる資料
 堆肥の成分証明書

※ 堆肥を譲り受ける場合はその証拠書類(伝票、取引書類等)、自給堆肥の場合は堆肥原料、その量、堆肥製造期間、堆肥製造場所、製造した堆肥の量等を記載した書類を保管。

(注)農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または✓を入れる。